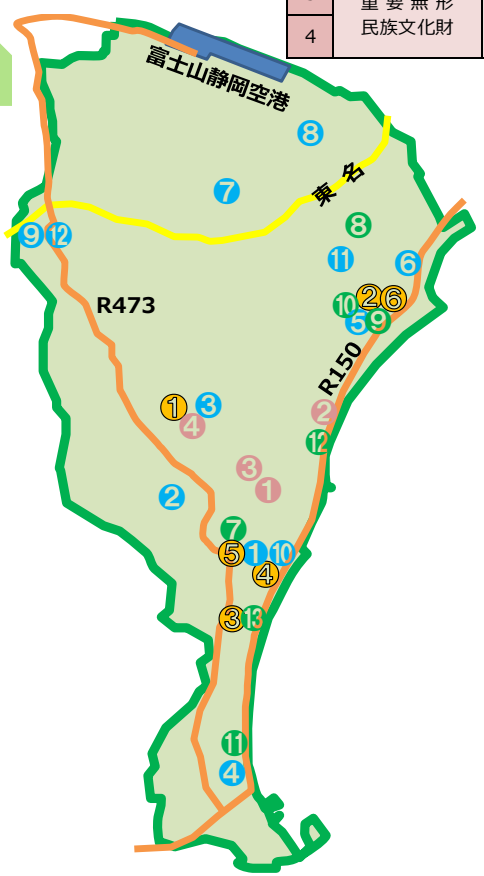


主要な文化財・教育施設

文化財			
1	国 宝	古文書	聖武天皇勅書 (平田寺)
2	重要文化財	建造物	大鐘家住宅 主屋・長屋門
3	重要無形 民族文化財	無形 民俗	大江八幡神社の御船行事 蛭ヶ谷の田遊び

市内小中学校学級編成状況 (令和5年5月1日現在)

学校名	児童生徒、クラス数 (〇は特別支援児童生徒、クラス数)
1 相良小学校	418(26)人 18(4)クラス
2 菅山小学校	124(4)人 8(2)クラス
3 萩間小学校	149(5)人 8(2)クラス
4 地頭方小学校	188(10)人 8(2)クラス
5 川崎小学校	384(9)人 15(2)クラス
6 細江小学校	395(11)人 16(3)クラス
7 勝間田小学校	133(2)人 7(1)クラス
8 坂部小学校	118(7)人 8(2)クラス
9 組合立牧之原小学校	178(3)人 9(2)クラス
小学校計	2,087人 97クラス
10 相良中学校	391(15)人 15(3)クラス
11 榛原中学校	508(15)人 18(3)クラス
12 組合立牧之原中学校	69(3)人 4(1)クラス
中学校計	968人 37クラス
合計	3,055人 134クラス

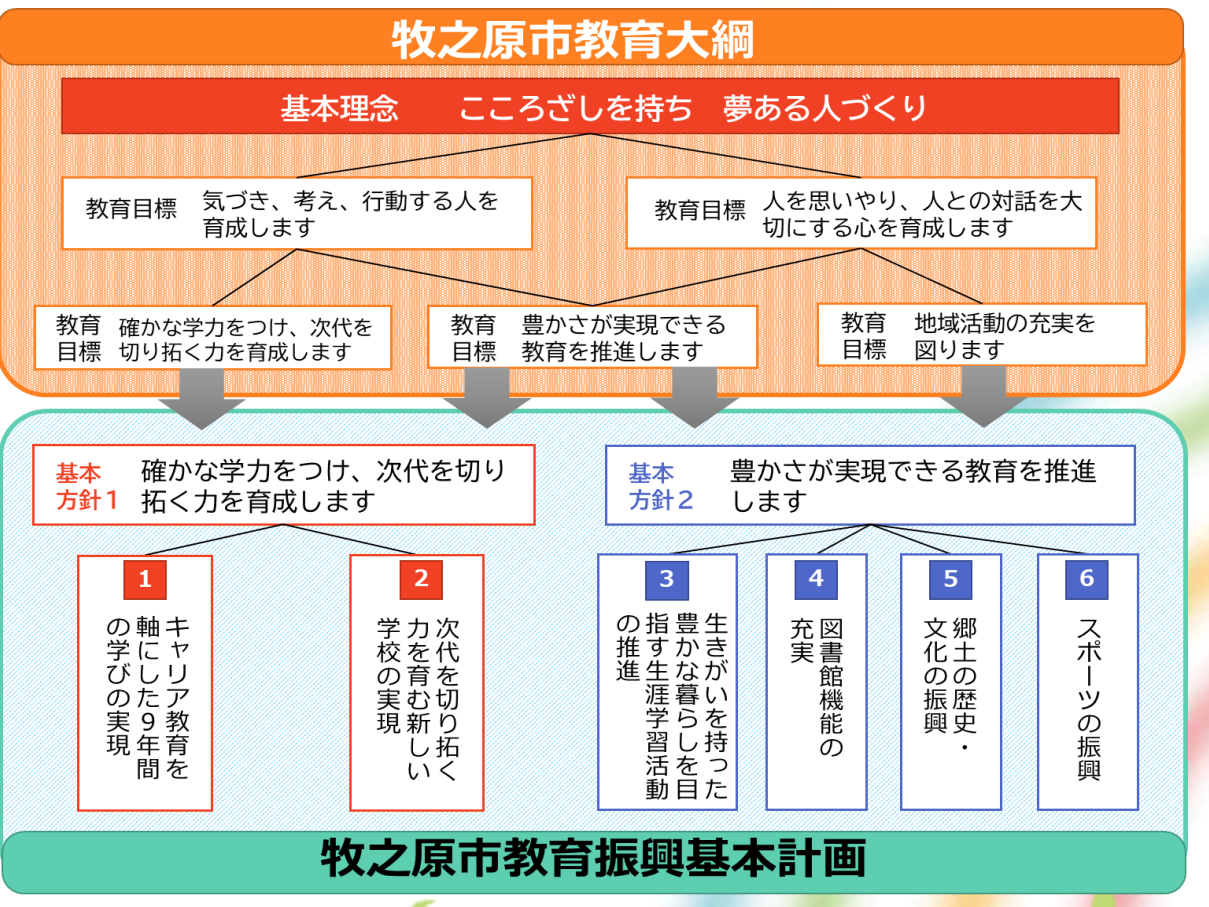


社会教育施設	
1	萩間公民館
2	榛原文化センター
3	相良総合センター い〜ら
4	史料館
5	図書交流館いこっと
6	榛原図書館
体育施設	
7	相良総合グラウンド
8	榛原総合運動公園
9	静波グラウンド
10	静波体育館
11	地頭方体育館
12	片浜体育館
13	相良B & G 海洋センター

牧之原市の教育 2023

基本理念 「こころざしを持ち 夢ある人づくり」

牧之原市教育委員会では、教育大綱の理念や教育目標の実現のため、また第3次総合計画の分野別計画にも位置付けられる計画として「教育振興基本計画」を策定しています。この計画に基づき、本市では「こころざしを持ち 夢ある人づくり」を目指して次のとおり取り組んでいます。



※組合立学校の児童生徒数については、菊川市民含む



2023年度 牧之原市教育委員会の主要事業



基本方針1

確かな学力をつけ、次代を切り拓く力を育成します



小中一貫教育推進事業

学校教育課

次代を切り拓く力を育むために、教科ごとの9年間のカリキュラムを作成しています。このカリキュラムには、義務教育9年間を見通す中で、「この発達段階ではこうなってほしい」という教員の願いが込められています。

本市ではキャリア教育を「起郷家教育」と称し、次代を切り拓く力の資質・能力を系統的に総合的に育むため「地域の再発見～アースランチ～（小5）」「命と防災（小6、中1）」「仕事と価値創造（中2、中3）」の3つのプログラムにも取り組んでいます。

令和2年度から段階的に相良・榛原・牧之原地域で、それぞれの特色を生かし、小中連携を進めています。具体的には、小中学校の教員がお互いの授業を見合ったり、夏季休業中に先進的な実践に関する講演会を開催したりするなど、9年間を見通した子どもへの指導・支援のあり方について教師が学ぶ機会をつくっています。

日本語初期支援教室「いっぽ」

学校教育課

本市には、外国人労働者を雇用する企業が多く、海外から来たばかりの子どもたちが公立小中学校へ編入を希望するケースが多くあります。

そこで、以前より子どもたちへボランティア的に日本語教育及び学習支援を行っていた民間事業者に本業務を委託し、令和5年4月に日本語初期支援教室「いっぽ」を開講しました。定員を10人、学習期間を最長6カ月として、小中学校における円滑な学校生活や学びができるようになるための教室で、ひらがな、カタカナの読み書き、小学校2年生程度の計算などの学習力や日本語によるコミュニケーション能力の習得を目指します。学習は午前10時から午後3時まで行われ、子どもたちの送迎を行っております。「いっぽ」において、日本の学校における大きないっぽを歩むべく子どもたちは学んでいます。



学校再編計画推進事業

学校再編推進室

令和4年3月に「未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画～学校再編計画～」を策定しました。これは、望ましい教育環境のあり方に関する方針に基づき、小中一貫教育を一層充実したものにするため、学校区を再編して、令和12～15年度を目標に、施設一体型の義務教育学校（小中一貫校）を2校つくるための計画です。

新しい学校づくりに向けては、令和4年度に引き続き、市役所の関係部署との協議や、市民検討組織である「新しい

学校づくり検討会」の皆さんと検討を行い、本年度中に「学校施設整備基本構想・基本計画」を策定し、新しい学校施設の考え方を定める予定です。

多くの市民の皆さんと情報を共有できるよう、検討状況をお知らせするかわら版の配信、勉強会や報告会を実施していきます。



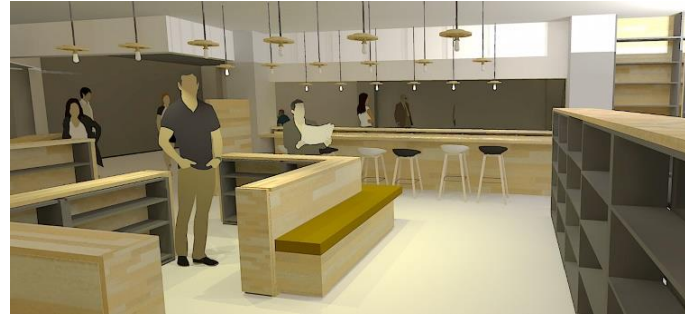
▲ 子どもたちと新しい学校をデザインするワークショップを開催（令和4年度）

基本方針2

豊かさが実現できる教育を推進します

榛原図書館機能拡充リノベーション事業

社会教育課



牧之原市図書館基本計画に基づき、令和5年度は榛原図書館のリノベーション工事を実施します。

これまでの榛原図書館は狭小で読書席が少なく、本を貸し出すだけの図書館でした。令和6年度から新しくなる図書館では、友だち同士で待ち合わせて本を探したり、学習室で

本市の文化について学んだり新しい図書館の使い方ができる場所に生まれ変わります。広さもこれまでの約2倍になり、収蔵する本は5,000冊増え、36,000冊になる予定です。市民に親しまれる身近な図書館を目指します。

新たな生涯学習事業「まきのほら塾」

社会教育課

今年度新たに、「子どもから大人まで、誰もが学べる。いつでも、いつまでも学べる。いきいきと輝き続け、新しい学びに出会える。地域がつながり、ひとがつながる【まなべるまきのほら】」を目標に、「まきのほら塾」を設立しました。

音楽、芸能、アート・工芸、クッキング、健康・スポーツ、ベビー・キッズのテーマで、全216講座を市内20か所で実施しており、市内外で合わせて約2,000人が受講しています。まなびかがやく「まきのほら塾」をキャッチコピーに今後も様々な世代に応じた学習機会を提供していきます。



スポーツ推進課

多目的体育館整備事業

令和5年度が整備の最終年度となります。建築工事では1階部分が姿を見せ、年度末完成に向け安全に工事を進めるとともに、各競技に必要な体育備品、運営に必要な事務用備品の購入など、施設の供用開始に向け必要な準備を進めています。本体育館では市で初めて施設予約システムを導入し、利用者が使いやすいシステムになるよう整備します。また、市で初めてネーミングライツ事業にも取り組み、愛称を「GasOneアリーナ牧之原」に決定しました。

なお、体育館では県内初となる「ZEB Ready（ゼブ・レディ）」認証取得を目指し、本市のゼロカーボンシティ推進の先導モデルとして地球環境に配慮した施設整備を進めます。

